

令和7年度

奈良県公立高等学校入学者特色選抜学力検査問題

国語

注意

- 1 指示があるまで開いてはいけません。
- 2 解答用紙には、受検番号を忘れないように書きなさい。
- 3 解答用紙の※印のところには、何も書いてはいけません。
- 4 答えは必ず解答用紙に書きなさい。

次の文章を読み、各問いに答えよ。

この部分については
著作権により公表できません

- (三) 線②と筆者が表現している理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア 芸術は自分の想像力を広げてくれるものであり、多くの作品の中から自分の好む作品を選ぶ自由があると考えているから。
イ 芸術は想像力の広がりをおけるものである一方、多くの作品の面白さをすべて受け入れることはできないと考えているから。
ウ 芸術は様々な感じ方や考え方を促してくれるものであり、すべての作品は制作過程で相互に影響しあっていると考えているから。
エ 芸術は様々な感じ方や考え方をしてもよいものであり、作品のあり方として絶対だと言えるものは存在しないと考えているから。
- (四) 線③とはどのようなことか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア アーティストたちは、さまざまな作品から影響を受けながら、独自のものの限定の仕方を確立していくということ。
イ 一人のアーティストが生み出す多くの作品には、アーティストの間性がそのまま表れるものであるということ。
ウ アーティストたちが教えてくれるものの限定の仕方は変化に富んでおり、独自性が内包されているということ。
エ さまざまなアーティストが協力して制作した作品には、アーティストたちの個性が統合されているということ。
- (五) 線④とあるが、何と何が衝突すると筆者は考えているか。文章中の言葉を用い、「…」が衝突する。「」に続くように二十五字以内で書け。

この部分については
著作権により公表できません

(千葉雅也「センスの哲学」による)

(注) アーティスト⇔芸術家

- (一) Aの漢字の読みを平仮名で書き、 Bの片仮名を漢字で書け。
- (二) 線①の「わけ」と同じ意味で使われているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア つまり喜んでるわけだ。 イ 辞書で言葉のわけを調べる。
ウ 彼に泣いたわけを尋ねた。 エ その説明ではわけが立たない。

- (六) 「I」の部分とは、この文章の中でどのような働きをしているか。その説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。
ア 前の段落で述べた考えとは対照的な話題を紹介することで、後の段落で述べる自分の主張の独自性を浮き立たせている。
イ 前の段落で述べた考えに対して客観的な立場からの意見を提示することで、後の段落で述べる自分の主張を補強している。
ウ 前の段落で述べた考えを具体的な例を用いてわかりやすく説明することで、後の段落で述べる自分の主張に発展させている。
エ 前の段落で述べた考えに対してあえて疑問を投げかけることで、後の段落で述べる自分の主張に新たな視点を付け加えている。
- (七) 線⑤とはどういうことか。「」に続けて、文章中の言葉を用いて簡潔に書け。
- (八) 線部を全体の調和を考え、楷書で、一行で丁寧に書け。

二 次の文章を読み、各問いに答えよ。

八月十五夜の月にむかひ、坊主^{ぼくし}あまた集まり、児^こまじはり、詠^{よめ}めけるに、大児の、「あれほどの餅をかかへて、そろそろとくはばおもしろからう。」とささやきけると、小児、「されば大きさはあれ程でよいが、あつさぎしらぬ。」と。

〔醒睡笑〕による

(注) 坊主あまたは僧がたぐさん

児は勉学や行儀見習いなどのために寺に預けられている少年

詠めけるには眺めていたところ 大児は年長の児

そろそろとゆつくりと 小児は年少の児

(一) 線①を現代仮名遣いに直して書け。

(二) 線②の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 食べたので イ 加えたので

ウ 食べたなら エ 加えたなら

(三) 線③からどのようなことがわかるか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 月を見て大きな餅を想像している大児の言葉には共感しながらも、餅の厚さにまでこだわりをみせているおかしさ。

イ 大きな餅を抱えたいという大児の願望に付け加えて、餅は熱さも肝心であるとぬけぬけと言つてのける恥ずかしさ。

ウ 大きな満月に関心を示す大児に、月見を催して僧たちを手厚くもてなそうと提案できるほどの大児と小児の親密さ。

エ 大きな満月が見えたことに感動しながらも、厳しい暑さのせいで月見を楽しめる状況ではないと訴えている切実さ。

上げてきました。今までもお礼を言われたことはありましたが、この「いつもありがとう。」は、その日のことだけではなく、これまで続けてきた清掃ボランティアに対する感謝の言葉だと思つと、地域に貢献できていたことが実感できて、心からよかったと思えました。ボランティアに参加したことがある人の中には、私と同じような経験をした人もいるのではないのでしょうか。この経験から、私は二つのことを学びました。一つ目は、継続することの大切さです。二つ目は、地域はみんなで協力しながら良くしていくものだということです。今後、私は清掃ボランティア以外の活動にも参加し、地域の一員として、さらに地域が良くなるよう協力していきたいと考えています。その中で、他の誰かが継続していることに気づき、今度は自分が「いつもありがとう。」と感謝の言葉を伝えられる人になりたいです。

(一) 線部と同じ構成の三字熟語を次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 不可能 イ 専門家 ウ 雪月花 エ 急展開

(二) 春香さんは「スピーチのためのメモ」をもとにスピーチを行った。「スピーチの記録」から春香さんのどのような工夫がわかるか。最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 内容に説得力をもたせるために、参加した様々な種類のボランティア活動について具体的に話したこと。

イ 結びへの話題転換をスムーズにするために、聞き手の共感を呼び起こすような問いかけをしたこと。

三

春香さんのクラスでは、国語科の授業で、二分間程度のスピーチをする学習に取り組んでいる。春香さんは「心に残っている言葉」というテーマでスピーチを行った。次は、「スピーチのためのメモ」と実際に行った「スピーチの記録」である。これらを読み、各問いに答えよ。

【スピーチのためのメモ】

〔テーマ〕心に残っている言葉 「いつもありがとう。」

○心に残っている言葉

・「いつもありがとう。」↑校区清掃ボランティア

○感じたこと

・うれしさ

・地域に貢献できていた実感

○学んだこと

・継続することの大切さ

・地域はみんなで協力しながら良くしていくものだということ

【スピーチの記録】

私は、生徒会主催の校区清掃ボランティアに参加したとき、地域の方から「いつもありがとう。」という言葉をかけていただいたことが心に残っています。これまでも美化委員として、清掃ボランティアには毎回参加してきました。自分が掃除した場所がきれいになる気持ちよさから、やりがいを感じています。

今回の清掃ボランティアでは、通学路を中心にゴミを拾っていました。すると、通りかかった地域の方が、「きれいに掃除してくれるおかげで、道にゴミを捨てる人が減ってきたよ。いつもありがとう。」と声をかけてくださいました。びっくりすると同時にうれしさがこみ

ウ 伝えたいことを明確にするために、清掃の成果として拾ったゴミの量を資料として提示したこと。

エ 聞き手の興味や関心を引くために、ボランティアの意義についてわかりやすく述べたこと。

(三) 【スピーチの記録】からわかる春香さんのスピーチの特徴として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 自分の考えと一般的な考えを比較することで、自分の考えの独自性を聞き手に印象づけている。

イ 多くの実体験を紹介し、スピーチのテーマを丁寧に説明することで、聞き手に主張を明確に伝えている。

ウ 比喩を用いながら自分の体験談を述べることで、聞き手がその場面を想像しやすくなるようにしている。

エ 自らの体験談を具体的に述べ、その時の思いにも言及することで、聞き手にわかりやすく伝えている。

(四) あなたが継続していききたいことは何か。継続していききたい理由を含めて八十文字以内で書け。